

令和 7 年 10 月 23 日

(臨床研究に関する公開情報)

国家公務員共済組合連合会横須賀共済病院では、より良い診断・治療を目標として、さまざまな臨床研究を行なっております。今回、下記の臨床研究を実施いたしますので、研究の計画及びその方法についてお知りになりたい場合、研究において検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合などがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、研究のために患者さまの負担や危険が増えることはございません。また、ご了解できなかった場合、患者さまにとって不利益になることは一切ございません。

[研究課題名] パルスフィールドアブレーションによる溶血のリスク評価及び

治療

[研究責任者] 循環器内科 部長 田中 泰章

[研究の概要] 心房細動に対してカテーテルアブレーション治療が広く行われています。この治療法は心臓内の電気信号の流れを把握した上で、原因となっている領域を種々のエネルギー源を用いて遮断し病気を起こしにくくする治療法です。この治療は、これまで高周波通電によって発生させた熱を用いていましたが、近年パルスフィールドアブレーションというごく短時間の直流通電により熱を発生させずに治療効果を得る方法が主流となりました。欧米からの報告では効果の面でも安全の面でも優れた方法であることが判明しつつありますが、一方で溶血という新たな合併症も報告されています。この問題は、パルスフィールドアブレーションにより血液中の赤血球が壊れ、ヘモグロビンという物質が放出され、稀に腎臓機能障害を引き起こすというものです。そこで今回、このパルスフィールド治療の前後で、溶血に関連した検査を行いそのような問題起こりやすい患者さまの傾向を掴み、必要な治療を行うための検討を行うことといたしました。

[研究の方法]

- 対象となる患者さま

2024 年 11 月から 2026 年 3 月までに当院において心房細動のパルス
フィールドアブレーションを行った、または行う患者さま

●利用する検体、カルテ情報

カルテ情報：年齢、性別、既往歴、心臓超音波検査結果、採血検査結果、カ
テテルアブレーション中に得られた心臓電気生理検査所見、治療後の外来
にて施行された心電図検査結果などを収集し、解析させていただきます。この調
査は、通常の心房細動診療の範囲内で行われますので、特に追加の検査や処
置など患者様のご負担は発生いたしません。

[個人情報の取扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さまを直接同定できる個人
情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、そ
の際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院 循環器センター

電話 046-822-2710（代表）

受付時間 平日 9 時-17 時

*お問い合わせ内容により、こちらから改めてご連絡をさせて頂くことをご了承ください